



【カルボプラチン+ペメトレキセド+

リブロファズ療法について】



様



コース目

😊 お薬の名前と治療のスケジュール (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
薬の名前	作用	めやすの時間																						
パンビタン	葉酸を含む総合ビタミンです	1日1回 内服																						
カロナール錠	アレルギー様症状を抑える薬です	1日1回 内服																						
レスタミン錠		1日1回 内服																						
アプレピタントカプセル	吐き気止めです	1日1回 内服																						
グラニセトン注	吐き気止めです	30分																						
デキサート注																								
ペメトレキセド注	抗がん剤です	10分																						
カルボプラチン注	抗がん剤です	1時間																						
リブロファズ注	抗がん剤です	数分																						

※ ペメトレキセド注による副作用軽減のため、パンビタン末(葉酸の粉薬)の内服、メチコパール(ビタミンB12)の注射を行います。

*前立腺肥大症や閉塞隅角緑内障がある方はお知らせください。

😊 治療による副作用

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	過敏症																							
	食欲不振・吐き気	痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																						
	口内炎	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																						
	下痢	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																						
	皮膚症状(皮疹、乾燥、爪囲炎など)	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																						
	手足のしびれ	にきびのような発疹ができて、皮膚が乾燥してひび割れができることがあるので、保湿剤を使うなどして予防しましょう。																						
	脱毛(頭髮・まつ毛・眉毛など)	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																						
検査値	白血球減少	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																						
	赤血球減少(貧血)	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																						
	血小板減少	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																						
	腎機能低下	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																						
	肝機能低下	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																						

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていますが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

●間質性肺炎 ●血栓塞栓症 ●浮腫



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 抗がん剤投与および投与後一定期間は適切な避妊を行ってください。
- * 自動車運転等を行わないよう注意が必要です。主治医の指示に従ってください。

広島市民病院薬剤部